

2021年3月期 第3四半期 決算概況



キャリア実現支援企業

東証JASDAQ : 9696

<https://www.with-us.co.jp>

目次

ウィザスについて

ウィザスとは	．．．．．	P. 3
トップメッセージ	．．．．．	P. 4
会社概要	．．．．．	P. 5

2021年3月期 決算業績概要（連結）

業績の概要	．．．．．	P. 6
-------	-------	------

事業別概況

事業別業績	．．．．．	P. 9
学習塾事業	．．．．．	P.12
高校・キャリア支援事業	．．．．．	P.16
その他	．．．．．	P.22

株主還元・CSR活動

株主還元	．．．．．	P.27
CSR活動等の実施	．．．．．	P.28

ウィザスとは – What is “With us” –

ウィザスグループは、学習塾事業、高校・キャリア支援事業、その他（ICT教育・能力開発事業、企業内研修ポータルサイト事業、ランゲージサービス事業、幼児・学童英語事業、ヘルスケア事業）など多様な教育ニーズに対応した幅広い分野での総合教育サービスを提供しております。



学習塾事業

幼児から高校生までを対象とする教科学習指導・進学受験指導ならびに能力開発指導と独自の「プラスサイクル学習法」を用いた学力指導を行う「学習塾事業」

(株)ウィザス、(株)フォレスト、(株)佑学社、(株)学習受験社、京大ゼミナール久保塾(株)等



高校・キャリア支援事業

広域通信制単位制高等学校の運営や、中学生等を対象とするICTを活用した学校外での学習機会の提供、社会人（高卒以上）を対象とした各種資格・スキル等取得に向けた支援、海外からの留学生を対象にした日本語教育サービス等

(株)ウィザス、(株)エヌ・アイ・エス、(株)Genki Global、(株)ウィザス グローバル ソリューションズ



その他

WEB上での速読を主体とする各種教育サービス、ICTソリューションサービスを提供するICT教育・能力開発事業、企業向け社員教育コンテンツの開発・販売を行う企業内研修ポータルサイト事業、ランゲージサービス事業、幼児・学童英語事業、ヘルスケア事業等

(株)ウィザス、(株)SRJ、(株)レビックグローバル、(株)吉香、(株)ウィザスイーライフ等

トップメッセージ

私たちは、ウィザス独自の「プラスサイクル学習法※」の実践を通じ、生徒の「自他肯定感」向上を育むために、一人ひとりの生徒の状況や個性を尊重し、生徒自身が自分を意欲喚起でき、自己成長し続ける力を養える教育をめざしてまいります。

※プラスサイクル学習法 (P. 12 ご参照)



代表取締役社長
生駒 富男

【経営理念】

3つの貢献

顧客への貢献

満足を超えた業務の遂行と
人間力発揮を通じた貢献

Customer

社員への貢献

社員・スタッフの自己成長と
真のハッピーを通じた貢献

Employee

社会への貢献

コーポレートビジョンの実現と
業績向上を通じた貢献

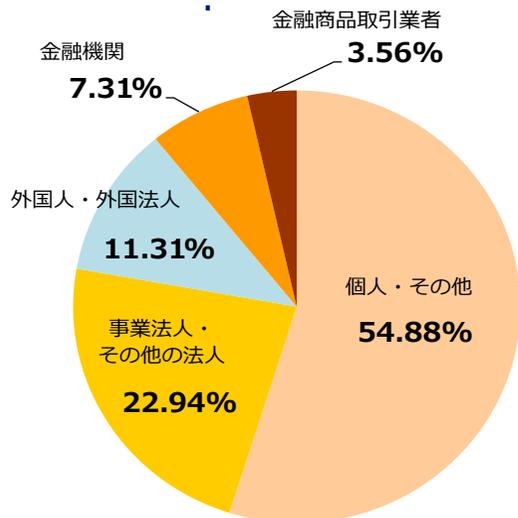
Society

【コーポレートビジョン】

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる最高の教育機関をめざす

会社概要

- **会社名** : 株式会社ウィザス (With us Corporation)
- **設立** : 1976年7月10日
- **資本金** : 1,299百万円
- **本社所在地** : 大阪府中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル
- **従業員数** : 812名 (男 : 576名 女 : 236名) ※2020年12月末現在 (連結)
- **上場市場** : 東証JASDAQ
- **発行済み株式数** : 10,440,000株 ※2020年12月末現在
- **株主構成** :



	株主名 (2020年12月末)	所有株式数(千株)	議決権比率
1	株式会社ヒントアンドヒット	1,053	11.03%
2	ウィザス社員持株会	471	4.94%
3	堀川 直人	467	4.90%
4	堀川 明人	466	4.88%
5	GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	316	3.32%
6	株式会社学研ホールディングス	300	3.14%
7	NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	273	2.87%
8	株式会社明光ネットワークジャパン	267	2.81%
9	MSIP CLIENT SECURITIES	266	2.79%
10	日本生命保険相互会社	249	2.61%

(注1) 上記は持ち株比率で表記しております。
 (注2) その他には自己株式を含んでおります。

(注1) 上記のほか、自己株式が893千株あります。
 (注2) 議決権比率は自己株式を控除して計算しております。

業績の概要

当第3四半期連結会計期間においては、入会・入学者数は前年同期を上回り、生徒数は緩やかに回復基調となりました。最大限の感染症対策と学びの機会の確保の両立にも努め、同期間において従前と変わらない授業時間数を確保することができました。また、お客様や従業員の安心・安全策の徹底を図りつつ、ICTの利点を一層活用したプログラムの開発を通じて、独自の「個別最適化・自立型学習」の構築を推し進め、学習効果への価値を一層高めていくことに注力してまいりました。しかしながら、春先のコロナ禍における減収分を補うには至らず、当第3四半期連結累計期間の売上高は116億30百万円（前年同期比10.1%減）、営業利益は3億98百万円（同54.8%減）、経常利益は5億84百万円（同39.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億97百万円（同42.0%減）となりました。

(単位：百万円)

	2020.3 3Q 実績	構成比	2021.3 3Q 実績	構成比	対前期増減		(参考) 通期	
					金額	%	2020.3 実績	構成比
売上高	12,930	-	11,630	-	△ 1,299	△10.1%	17,592	-
売上原価	8,976	69.4%	8,158	70.2%	△ 817	△9.1%	12,039	68.4%
売上総利益	3,953	30.6%	3,471	29.8%	△ 481	△12.2%	5,552	31.6%
販売管理費	3,071	23.8%	3,072	26.4%	1	0.1%	4,145	23.6%
営業利益	882	6.8%	398	3.4%	△ 483	△54.8%	1,407	8.0%
経常利益	962	7.4%	584	5.0%	△ 378	△39.3%	1,473	8.4%
親会社株主に帰属する 四半期・当期純利益	513	4.0%	297	2.6%	△ 215	△42.0%	325	1.8%

連結 BS 2021年3月期 第3四半期

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて705百万円減少し、14,096百万円となりました。

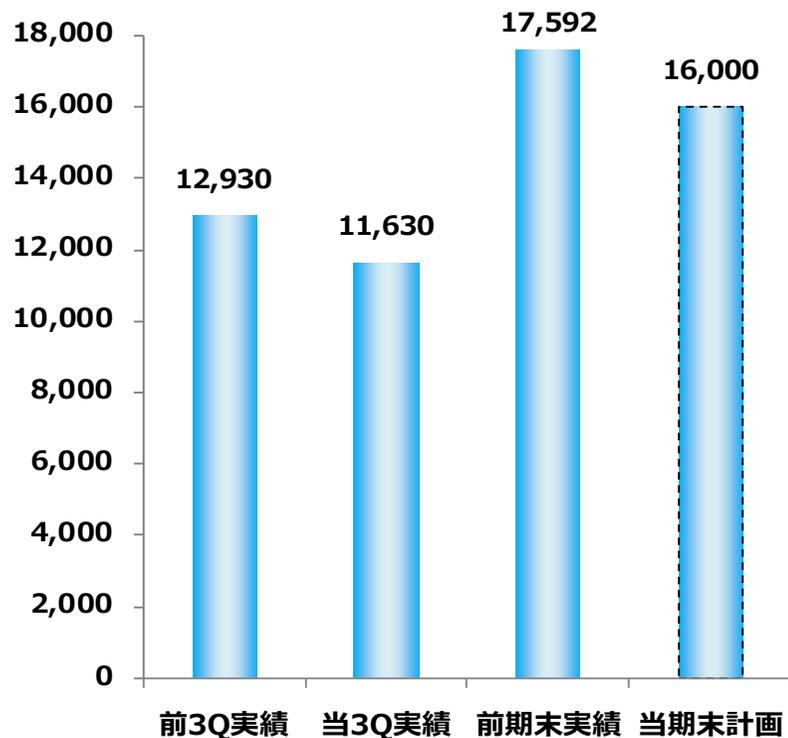
(単位：百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 3Q実績
流動資産	7,944	7,176
現金及び預金	6,899	5,832
授業料等未収入金	280	485
その他流動資産	765	859
有形・無形固定資産	3,013	2,988
投資等	3,844	3,931
資産合計	14,801	14,096
流動負債	7,766	6,845
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・1年内償還予定の社債	1,187	1,183
前受金	4,733	3,663
未払法人税等	378	102
その他流動負債	1,468	1,897
固定負債	2,134	2,182
長期借入金・社債	209	267
その他固定負債	1,925	1,915
純資産合計	4,900	5,068
負債・純資産合計	14,801	14,096

連結業績推移 2021年3月期 第3四半期

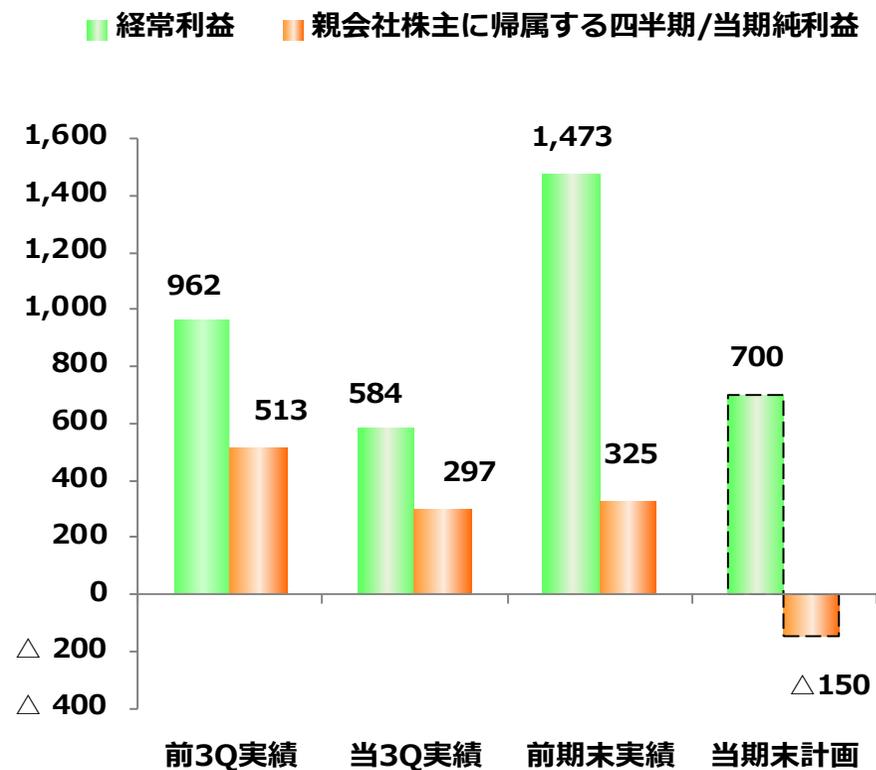
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

経常利益/親会社株主に帰属する
四半期純利益・当期純利益



事業別業績 2021年3月期 第3四半期（連結ベース）

(単位：百万円)

	学習塾事業		高校・キャリア支援事業	
	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期
売上高	5,668	4,808	4,878	4,729
営業利益	756	370	1,211	1,277

	その他		調整額	
	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期
売上高	2,383	2,092	-	-
営業利益	25	△21	△1,111	△1,226

(注) 営業利益は本社経費配賦前営業利益となります。

校舎展開

全国219校

(2020年12月末現在)

変化する地域ニーズに応じた校舎規模・設備・業態等、環境の最適化を図るため、出店・増床・減床・統廃合を行うことにより、競合力と経営効率を強化しております。

新規



第一学院高等学校 湘南藤沢キャンパス

新規



早稲田イーライフ 河内長野

※早稲田イーライフは株式会社ウィザスイーライフが運営しております。



事業展開

当社グループは、総合教育サービス企業として、学齢や指導形態等、多様な顧客ニーズに対応するブランド形成を図っております。海外からの留学生を対象とした日本語教育サービスの提供やランゲージサービス事業等、事業領域を積極的にひろげております。

セグメント	会社名/事業	ブランド名	対象				
			幼児	小学生	中学生	高校生	社会人等
学習塾事業	(株)ウイガス	生徒第一…だから 第一ゼミナール		←→			
		ファロス個別指導		←→			
		第一ゼミパシード PASSPORT		←→			
		SUR 合格指導会 大学受験 (シジュール)			←→		
	(株)学習受験社	MedSUR (メッドシジュール)				←→	
		GAZ (ガゼット)	←→	←→			
	(株)佑学社	佑学社・大阪教育		←→			
	(株)フォレスト	国語学習会		←→			
京大ゼミナール久保塾 (株)	京大ゼミナール 久保塾		←→				
高校・キャリア支援事業	(株)ウイガス	生徒第一…だから 第一学院高等学校			←→		
		第一学院高等学校 専攻科					←→
	(株) エヌ・アイ・エス	ic NAGOYA INTERNATIONAL COMMUNICATION HUB					←→
	(株) Genki Global	Genki JAPANESE & CULTURE SCHOOL					←→
	(株) ウイガスグローバルソリューションズ	With-us Global Solutions					←→
その他	ICT教育・能力開発、ランゲージサービス、幼児・学童英語、企業内研修ポータルサイト、ヘルスケア、広告等	SRJ JASDAQ 上場企業グループ KIKKO For Better Communication REVIC GLOBAL 株式会社レビックグローバル	英語で学ぶ。英語をみかく。 Blue Dolphins e-life		BREEZE Inc.		

学習塾事業：独自の教育プログラムによる成長支援と顧客満足度の追究

生涯“学び続ける礎”を身につける

進学塾として、「成績向上と志望校合格」に全力を注ぐのは当然のこと。我々がめざすのは、それにとどまらない、生徒一人ひとりの未来を見据えた指導です。受験勉強を単なる詰め込みで終わらせず、将来に生きる「自ら意欲的に考え、学ぶ力」、ひいては異文化理解や多文化共生といった、これからの社会で増々必要となる力の源泉を育くむ機会と位置づけ、社会で活躍できる人づくりを推進します。

【1】独自の意欲喚起教育

創業以来培ってきた意欲喚起教育を更に進化させ、「社会」や「将来」について知り、未来を「自分ごと」としてとらえ、「将来に向けて、今何を学ぶべきか」という「自己理解」を深めることで、学習意欲の向上につなげていきます。

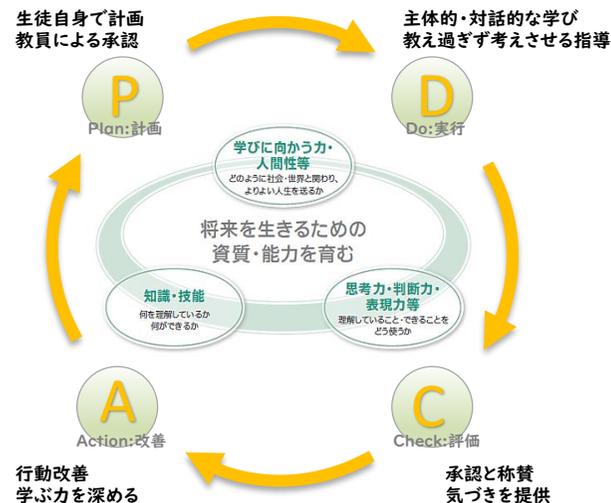


【2】プラスサイクル学習法

プラスサイクル学習法とは、当社40年間の指導経験に、最新の脳科学の研究成果を活かした第一ゼミナール独自の教育プログラムです。生徒自身のやる気を引き出して継続させることで、塾でも学校でも家庭でも、主体的に学習に取り組む姿勢を育み、一人ひとりの成績向上・志望校合格をサポートいたします。

【3】対話を繰り返し、学びに向かう力を育む

生徒が一人で考えるのではなく、節目で教員や先輩との対話を通じて学びを深め、主体的に課題を解決する力を育むことを重視しています。対話的な学びを深めることで、思考力育成と次の自発的な意欲につながることを、長年の経験からも確信しております。



学習塾事業：学び続けるための育成プログラムを体系的に設計

思考力・判断力・表現力など、これからの社会で一層求められる力は、生涯様々な場面で活躍する礎になるものです。低学齢から体系的にプログラムを設計することで、一人ひとりの目的を実現させる力を育みます。

■ことばの学校

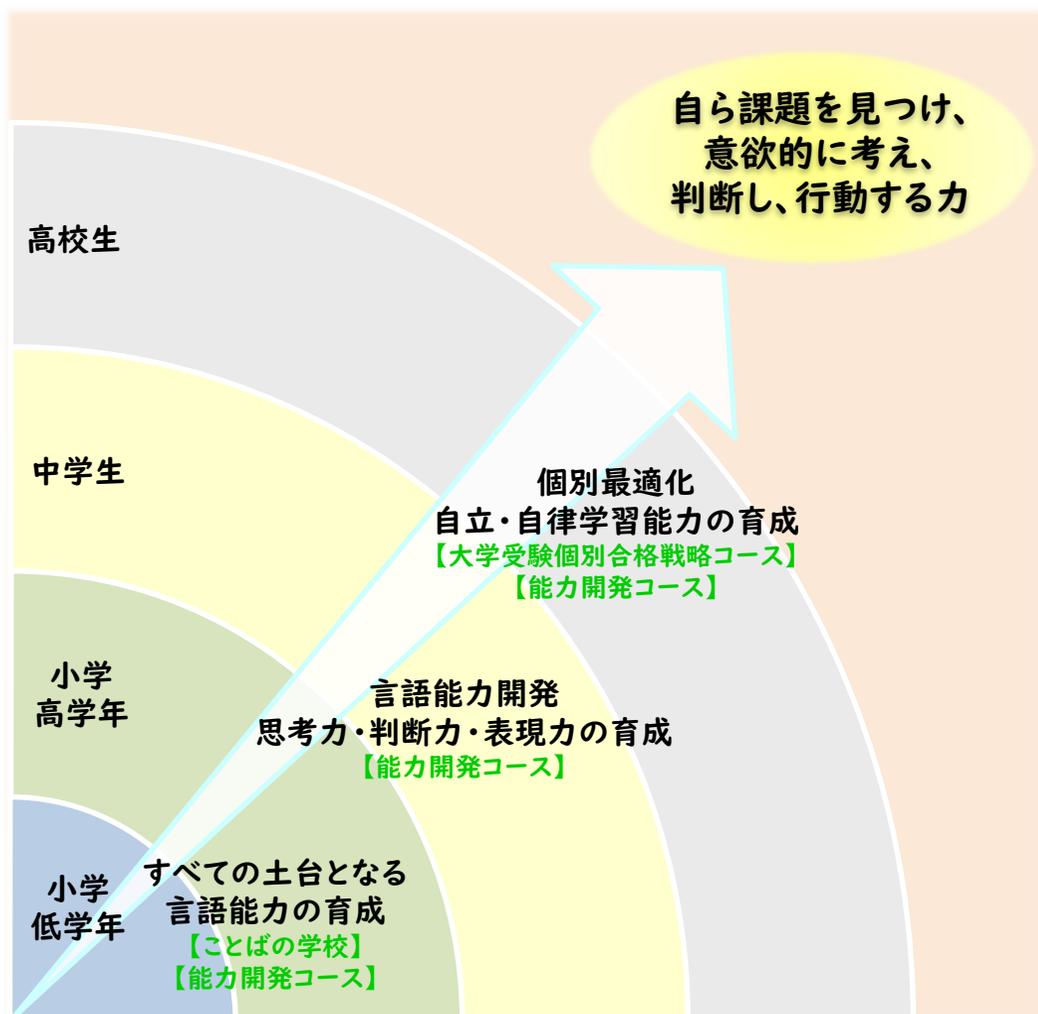
全ての学習の基盤となる「言語能力」に特化して育成を行います。厳選された良書の多読と読書ワーク作成を繰り返し、ことばの運用を生きた表現から学びます。豊かなことばの力を身につけることで、学習面だけでなく生活面でも大きく可能性を広げていきます。

■能力開発コース

「読解力」「思考力」「速読力」を中心に同時複合的に育成します。これからの入試は主旨を速く正確に読み解く力が更に重要になると考えられ、能力開発コースでは小学校低学年から高校生まで体系的に求められる力を育てていきます。

■大学受験個別合格戦略コース

ICTを活用して、学習方略を個別最適化するとともに、専属のチューター講師が、家庭学習も含めた全ての学習時間を把握し、寄り添い、やる気を引き出し、継続させます。これらのサイクルによって成長を実感し、身につけていく自立・自律学習力は、社会に出てからも活躍できる源になると考え、ICTと人の力を合わせて育成に取り組んでおります。



トピックス：弾力的な時間割編成と感染症拡大防止対策で授業時間数を確保

2020年はコロナ禍による影響で、児童・生徒にとって学習環境を整えにくい一年となりました。学習塾事業では、最大限の感染症拡大防止対策を講じた上で、例年にも増して丁寧な学習支援と従来通りの授業時間数の確保に努めました。

■冬期講習会、例年と同じ授業時間を無理なく設定

コロナ禍における休校が響き、学校における冬季休暇期間は大幅に短縮されることとなりました。学習塾事業では、最大限の感染症拡大防止対策を講じながら、時間割を弾力的に編成し、例年と同じ万全の授業時間数を確保しました。学校と講習会の授業を負担の少ない形で両立し、生徒一人ひとりの成長をサポートするとともに、受験直前の後押しを行いました。また、生徒の安全・安心を第一義に、双方向オンライン授業も同時展開し、感染症拡大防止対策を徹底して継続しております。



■3日間の集中勉強特訓会も開催、感染予防と両立

例年実施している年末3日間の集中特訓も開催致しました。双方向オンライン授業の実施や三密回避などの感染予防を大前提としたうえで、1日10時間×3日間の計30時間にもおよぶ勉強量を確保、受験生一人ひとりの不安をなくし、自信をもって受験に臨むことができるよう、全力で指導にあたりました。



トピックス：各種取り組みが表彰を受けています

イードアワード「塾」3年連続1位を獲得



イード・アワード2020「塾」※中学生・集団指導部門におきまして、第一ゼミナールが「講師が良い塾」「子供が好きな塾」の第1位に選ばれました。昨年のイード・アワード2019「塾」では小学生・集団指導部門が「成績が上がる塾」で、一昨年の2018「塾」でも中学生・集団指導部門の「講師が良い塾」でそれぞれ第一ゼミナールが第1位に選ばれています。

※教育情報サイト「リセママ」を運営する株式会社イードが実施した塾の顧客満足度調査。2020年有効回答5004票、2019年有効回答6055票、2018年有効回答5228票。調査は通塾している小・中・高校生・既卒生（大学受験生）保護者を対象にインターネットで実施。

第一学院の生徒が各種大会で賞を受賞



■畑すみれさん 文部科学省大臣賞を受賞

第一学院高等学校 在校生 畑すみれさんが、「第67回 国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」で文部科学省大臣賞を受賞しました。本コンクールでは、国際理解・国際協力について考える機会をつくることを目的としており、自分の考えを根拠とともに主張します。畑さんは、全国540名の応募者の中から、見事文部科学省大臣賞を受賞しました。

モトクロス選手権



■米田海斗くん 全日本モトクロス選手権で総合優勝

日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）が主催する国内最高峰の選手権「全日本モトクロス選手権」が2020年10月3日（土）・4日（日）に実施され、第一学院高等学校四日市キャンパス1年生の米田海斗くんが見事総合優勝を果たしました。

高校事業

第一学院高等学校

構造改革特区の認定を受けた株式会社立の広域通信制高校で、東日本に「高萩本校」、西日本に「養父本校」の2校を設置しております。創立からの「生徒第一」「1/1の教育」の想いを大切に、「未来社会で活躍できる人づくり」に全力で取り組んでおります。

独自のICT教育を推進しており、全生徒を対象にタブレットを使用し、映像・音声による授業配信とともに、レポート作成・提出・進捗管理を一体的に行っております。

設置コース

- 通学型 標準コース、高大一貫コース、特別進学コース、総合コース、特化コース、芸能コース、スポーツコース、eスポーツコース、美容コース、ペットコース、本校通学コース等
- 通信型 Mobile HighSchool（通信コース）



高萩本校（茨城県）



養父本校（兵庫県）

日本語教育サービス事業



主にアジア圏からの留学生を対象にした日本語教育サービスを提供しております。国籍・性別・年齢を超えてコミュニケーション能力を上げ、世界的な視野で考え行動できる人材を育成し、地域社会・国際社会に貢献してまいります。



日本語習得を希望するヨーロッパの学生、社会人を対象に、日本語を学ぼうとする一人ひとりの学習者に寄り添いながら、日本語の特質や価値観・習慣・日本文化を伝え、地域交流や様々な体験イベントを通じて、諸外国からの日本理解に貢献してまいります。



日本語教師養成事業で実績のあるアルファ国際学院と共同で、日本語教師の養成校を運営しております。「420時間総合講座理論通信」は、文化庁届出受理講座です。

高校・キャリア支援事業：第一学院高等学校の特色ある専門コース

通信制高校としての特色を活かして、生徒の興味・関心に応じた魅力あるコースを展開し、多様なスペシャリスト育成に貢献してまいります。

特化コース

デジタルハリウッド大学／デジタルハリウッドと提携。プロの講師陣から実践的に学びます。

ICTスキルやプログラミングなど、これからの時代で一層必要となる力を、プロの講師陣から実践的に学びます。



芸能コース

渡辺プロダクショングループの『渡辺高等学院』と提携。

プロ講師から芸能デビューに直結した専門レッスンを受けることができます。



美容コース

美容専門学校との提携。美容のプロになるための専門知識（エステやネイル・メイクなど）やプロの技術を実践的に身につけます。



eスポーツコース

コナミグループ「esports 銀座 school」と提携。ゲームの実技だけでなく、セルフプロデュースやコミュニケーション、動画編集・配信といった幅広いカリキュラムを学びます。



スポーツコース

安定した実績を誇るサッカー部に加え、2020年4月にはスノーボード部・スケートボード部を新設。文武両道のアスリートを育成します。



ペットコース

ペットに関する分野で活躍するために、ペット業界のビジネスからペットの美容・健康に関することまで、幅広い専門知識を身につけます。

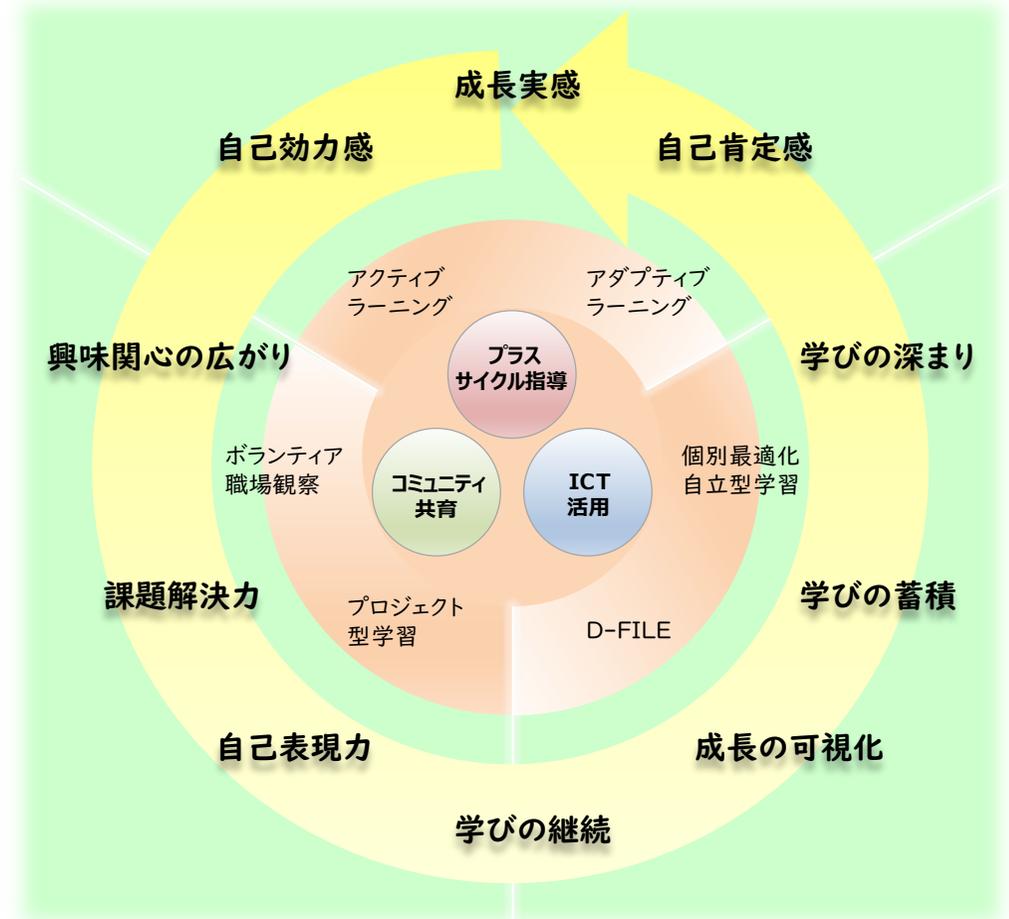


高校・キャリア支援事業: 自発的な成長を促し、可能性をひろげる

第一学院では、プラスサイクル指導、コミュニティ共育、ICTの活用を中心に、生徒の成長度No. 1の教育機関であることを目指しています。3分野の観点を複合的に作用させる独自の教育モデルを構築しており、提携法人ならびにグループ内外の協業を更に強め、新たな教育価値の提供に取り組んでいます。

生徒の成長を複合的に引き出す取り組み

教科学習面ではもちろんのこと、地域社会との関わりの中で学ぶコミュニティ共育においてもICT技術を活用し、成長の可視化を行うことで意欲喚起に繋がっています。それぞれの手法を様々な教育場面で複合的に提供していくことで、生徒の成長を加速させていきます。



高校・キャリア支援事業：成長を可視化し、自信を深め、主体的な行動へ繋げる

いままでは見えづらかった「成長の実感と実績」を、いつでも目に見えるようにすることで、感じやすくしております。「デジタル自分未来史ファイル（D-FILE）」では、第一学院オリジナルの「成長度 MAP®アプリ」、そして「Feelnote」の2つの仕組みを使い、日々の記録を行います。学校生活の中で蓄積される一人ひとりの記録を振り返り、周囲からのフィードバックを通して気づきを広げ、深め、更なる成長を引き出していきます。

■ 成長度MAP®アプリ

生徒一人ひとりの成長の記録となる、第一学院のオリジナル教材。生活面や学習面での自分の「今」をアプリに記録し“見える化”することで、変遷に気づきやすくしています。振り返りの機会に他者とも共有し、成長を引き出します。

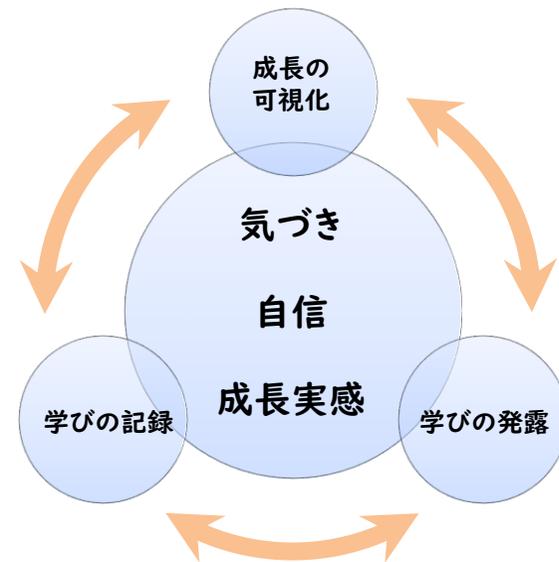


■ Feelnote

SNS型ポートフォリオ作成支援システムのFeelnoteを活用して、学んだ証と課外活動での成果物などをデータで記録・蓄積していきます。教員から活動の記録に対して随時フィードバックを行うことで、一つひとつのプロセスに意味づけを行っていきます。

■ 成長実感発表会

自分が学校生活で取り組んだこと、力を入れたことをテーマに設定し、プレゼンテーションや資料展示など自分で選択した方法で学びの成果を発表します。伝えることで活動の総括を行い、次の行動への原動力を生み出しています。



トピックス：「成長実感」をさらなる成長のエネルギーへ

第一学院では、生徒が日々の生活で感じた個々の「成長実感」を大切にし、それを自信に変えてさらなるチャレンジができるよう、生徒・保護者・学校一体となった取り組みを行っています。

■ 成長実感発表会を実施しました

年2回の発表テーマやスタイルは個人によって様々です。テーマの設定から発表に至るまでの過程、当日の発信、そして周りの方々からのフィードバックにより、自己の成長を感じ、成長へとつなげていきます。



半年間の学びの成果を堂々と発表しました。



オンライン配信も行い、多くの保護者の方にもご参加頂きました。



発表者に対して、よかったところや疑問をフィードバックシートに記入します。



発表会終了後はFeelnoteに学びの記録を蓄積して、新たな気づきを得ます。

■ WITHUS DAIICHI CUP <オンライン文化祭> を実施しました

全国のキャンパスの仲間がオンラインでつながるWITHUS DAIICHI CUP。全国のキャンパスの垣根を超えて、競技や運営への参加を行い、新たな発見や気づきを得る貴重な機会となりました。2020年の種目はオセロ・eスポーツ（ウイニングイレブン 2021）・川柳・イラスト・フォト・将棋・クイズ大会と7種目で構成されました。

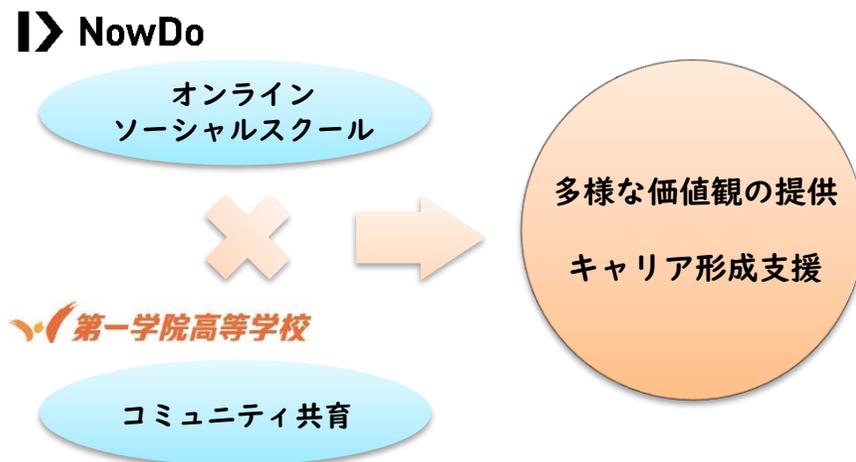


トピックス：Now Do株式会社（代表：本田圭佑氏）と業務提携

株式会社ウィザスは2020年10月、プロサッカー選手（ポルトガル・ポルティモネンセ所属）の本田圭佑氏が代表を務めるNow Do株式会社（東京都中央区）と業務提携を締結致しました。第一学院高等学校の建学の想い「『夢』を意識し、『夢』を持つ」と、Now Do株式会社の「世界中の誰もが夢を追い続けられる世界を創る」というコンセプトのもと、これからの未来社会を担う高校生年代のキャリア形成を、両社連携にて新しい形で支援してまいります。

■ 時代の変化に対応できる人づくりを目指す

両社連携の一環として、まずは第一学院に在籍する生徒に対し、Now Doのコンテンツを学習に組み込んでいく予定です。第一学院で展開している、地域社会とのかかわりを通して将来の自分を考える独自のキャリア教育「コミュニティ共育」と、Now Doが提供する、学校教育内だけでは出会えない様々な業界・分野の第一線で活躍されている方々の講義を組み合わせ、多くの高校生に多様な価値観を提供してまいります。



■ オンラインソーシャルスクール「Now Do」概要

オンラインソーシャルスクール「Now Do」は、Now Do株式会社が、中高生を対象にした教育の本質を再定義する新しいソーシャルスクールです。さまざまな業界の最前線で戦うプロフェッショナルを講師に招き、中高生向けに月額1ドルで講義を提供します。「『時代の変化に応じて自分自身の頭で考え、行動する力』を身に付ける」というコンセプトのもと、「そもそも“情報”が無ければ考えることもできない」ということを提唱しております（本田圭佑選手のインタビューより抜粋）。そのような“情報”を、講義を通して中高生の皆さんに向けて発信し、キャリア形成について考える機会の提供に努めます。

その他 ICT教育・能力開発事業

ICT教育・能力開発事業では、小学生から社会人までの幅広い年齢層を対象に、自立学習型能力開発プラットフォーム「TERRACE」等を制作・販売しております。さらにICT教育ソリューション・サービス事業として学習塾・学校の講座運営にあわせて、ベストなICT教育環境の導入から環境支援、運用支援をワンストップサービスで提供しております。

言語能力を育む自立学習システム

 **TERRACE**

 **SRJ**
JASDAQ 上場企業グループ

「TERRACE」の講座の一つである「速読解・思考力講座」は、全国の学習塾や学校等、約2,200教室で導入されています。「TERRACE」では、20年以上培ったノウハウをもとに設計された速読トレーニングをベースに、近年注目されている「読解力」「思考力」「速読力」を一つのアプリ内で総合的に学ぶことができます。また、速く正確に読む・聴く力を鍛える「速読聴英語講座」（約1,300教室で導入）や、物事の本質を考え、情報編集力を養うアクティブラーニング授業を展開する「表現力コースよのなか科」、「社会人速読」にも展開をひろげ、今後の社会で求められる力を体系的に育てまいります。



2020年の「TERRACE」は、速読解力・思考力・表現力各コースのリリースに続き、TERRACEを活用した新時代の教育を考える機会を創出する定例研修会イベントも積極的に行ってきました。コロナ禍の影響によりICT教育の需要は高まりを見せ、1月に実施された大学入学共通テストでは、全体を通じて分量が大幅に増加し、高い情報処理能力が求められました。ICT教育・能力開発事業では、日本のICT教育事業の成長に貢献し、受講生の能力向上に向けた様々なニーズに応えられる教育サービスの提供に努めてまいります。



トピックス：仕事力・学習力を高める社会人向け速読アプリ『速読解Biz』

2020年12月、株式会社SRJでは、ビジネススキルの向上や資格試験合格など、情報処理スピードを必要とする社会人に向けて、自宅で手軽に速読トレーニングが続けられるアプリ「速読解Biz」を発売しました。今後も次世代の高度情報化社会に求められるニーズに、臨機応変に対応をしてまいります。



JASDAQ 上場企業グループ

■情報化社会に有効なビジネススキル「速読」

速読は、多様な情報を読み解く必要がある現代社会において、柔軟な思考を促す情報処理能力を養うための能力開発として広がりを見せており、仕事や学習の面だけではなく、スポーツや脳活性にも効果が期待できるコンテンツとしても注目されています。

商品の特長



01 処理スピードアップ



02 語彙力・知識量アップ



03 読解力の向上



04 資格試験に役立つ

「速読」とは、文字通り読書速度を加速することを言います。速読に対する「速かろう浅かろう」という誤解は、斜め読みや飛ばし読みと言われるテクニカルな読み方には多少なりともあてはまるかもしれませんが、理解度を落とさないまま読書スピードを上げていく速読法もあります。「速読解Biz」では、1分間に何万文字というような超人的な能力ではなく、内容の理解度をチェックしながらスピードを向上していくトレーニングを通して、より実践的な読み方を身につけることに力点をおいています。

その他 企業内研修ポータルサイト事業

三井住友銀行をはじめとするメガバンクやメガ損保、国内自動車メーカー等の大手製造業、SGホールディングスグループ等の大企業における社員研修や営業研修等の法人向けオンライン教育サービスを提供しております。社内教育・研修を最適化する学習ポータルの運営から、eラーニング教材の開発・販売、ナレッジ継承による人材育成・開発を行っております。

社内教育システム構築サービスの提供



■ SmartSkill Campus

グローバル対応の多機能学習管理システムと豊富なコンテンツを組み合わせた自律型人材育成を核としたLMSです。学習者側の立場に立ち「どうすれば社会人が学びたくなるか？」を焦点にシステム化されており、上司や人事が、社員の能力要件や学習状況をフォロー出来る環境を用意します。



グループ共通教育を実現

■ 事例紹介

大手金融機関A社様ではグループ会社含めた数万名規模の教育を展開し、グループ横断的な教育施策に加え、グループ会社様固有の教育も実施し、ご活用いただいております。教育のポータルサイトとして、グループ全体・各社で実施される研修、人材育成を行うほか、ダイバーシティ/両立支援（出産・育児・介護）の情報を集約。自律的な成長とキャリアを形成するために、必要な情報など取得・共有できる環境を整備することで効果的・効率的な人材育成を実現されています。



その他 ランゲージサービス事業

株式会社吉香では、世界90言語にのぼる多様な通訳・翻訳業務、24時間体制での国際報道サポート等、独自性の高い事業運営を手掛けるとともに、語学力の高いスペシャリストを派遣し、語学教育や社内通訳等の高度人材サービスを展開しております。



<事例紹介>

文化財団主催の東京オリンピック、パラリンピック関連会合での日英逐次通訳

2021年開催予定の東京オリンピック、パラリンピックに向けての文化財団主催の会合で、英語⇔日本語の逐次通訳を担当いたしました。日本の大臣クラスや海外からのゲストなど、クールジャパンにかかわる文化人・知識人の方々のメッセージの授受を円滑に行いました。

米国大統領選挙関連・IOCバツハ会長会見

2020年アメリカ大統領選挙期間中、民放キー局での生放送同時通訳や映像翻訳、ネットリサーチを24時間体制でサポートさせて頂きました。また、東京五輪・パラリンピックの開催について、バツハ会長記者会見の放送同時通訳を担当致しました。

オンライン会議リモート同時通訳サービス

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、テレワークが世界中で推奨される中、海外と遠隔で結んだオンライン会議の需要は日々増しております。吉香では社内にもリモート同時通訳の特設ブースを設置しており、オンライン会議での通訳ニーズに対応しております。



その他 幼児・学童英語事業

英語で学ぶ。英語をみかく。



プリスクール（2歳～小学生）

イマージョン教育による自然な英語習得

ブルードルフィنزでは、英語圏の子どもたちが言葉を学ぶのと同じように、遊びや生活を英語で行う、イマージョン教育を行っています。

英語を浴びるように聞き、学び、発音してみることで、自然に英語を身につけることができます。



アフタースクール（5歳～小学生）

1日最大6時間、英語で過ごす学童保育

日常で使える英語指導だけでなく、英検受験サポート体制も充実しています。アフタースクール（学童保育）として宿題もサポート。

イマージョン教育やブルードルフィنزオリジナルのカリキュラムで世界の文化を学びながら、コミュニケーション能力と「聞く、話す、読む、書く」の4つの英語スキルをブラッシュアップすることができます。





株主還元

当社は株主の皆様に対する利益還元を最重要課題のひとつと考えております。利益配分の基本方針としては、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保金を確保しつつ、継続的な配当による株主の皆様への利益還元を積極的に行い、安定配当に主眼をおいた考え方を取っております。

期	年度	1株当たり配当金 (円)	純資産配当率 (%)	株価 (期末終値) (円)
42期	2018.3	16.00	3.6	427
43期	2019.3	16.00	3.4	406
44期	2020.3	16.00	3.3	506
45期予想 ^(注)	2021.3	16.00	—	—

単元株数は100株となっております。

(注) 第45期につきましては、普通配当として中間配当6円、期末配当予想10円となっております。

環境保全活動、CSR活動等の実施

環境保全活動

第一ゼミエコ★プロジェクト

当社では、「**「世界の子ども」**と**「地球の未来」**を創る」をテーマとする「ペットボトルキャップ回収」に取り組んでおり、キャップの売却益が「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へワクチン代として全額寄付されます。



- キャップ800個
→ポリオワクチン1人分
- キャップ400個
→3.15kgのCO₂削減

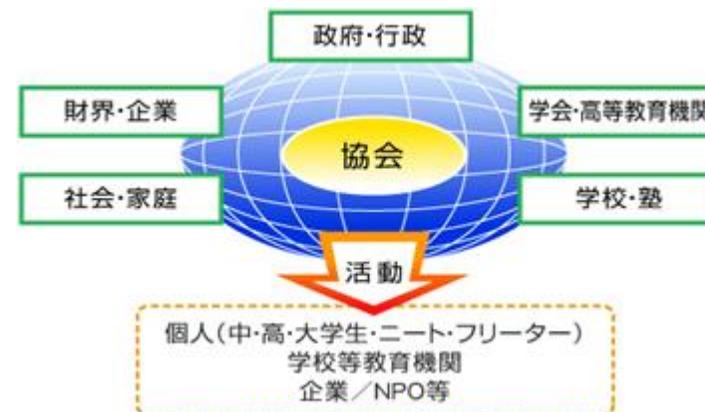
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、回収しているキャップの集計を一時停止しております。上記報告数は2020年4月10日時点のものとなります。



社会貢献活動

キャリア教育事業を通じた活動

青少年と行政・企業・教育機関等とのキャリアネットワーク形成を推進する「一般社団法人 共生と共育ネットワーク」の受託業務において、収益事業としてではなく社会貢献活動の一環と位置付け、全国の保護者・団体等への講演・相談会を行うと同時に、キャリア教育や情報リテラシー活用の研修などを推進しております。





東証JASDAQ : 9696

お問合せ先 株式会社ウィザス 統括支援本部 経営戦略チーム

【TEL】 06-6264-4205

【Mail】 webmaster@with-us.co.jp

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。